

筑波大学 人文・文化学群

日本語・日本文化学類

College of Japanese Language and Culture
School of Humanities and Culture
University of Tsukuba

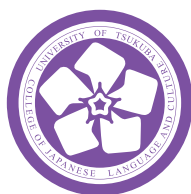


ようこそ、日本語・



皆さんは大学での学びにどんなイメージを抱いていますか。明確な目標をもって大学進学する人がいる一方で、義務感から決断した人もいます。学びの目的や動機は千差万別で、キャンパスで許容される差異が多様であればあるほど、それが大学の個性を伸ばし、魅力を高めることにつながります。なぜなら、大学での学びは、知識の吸収だけにとどまらず、新しい視点で物事を理解する姿勢を重視するからです。同質性の高い人ばかりでは、未来を切り開くブレイクスルーは期待できません。

日本語・日本文化学類では、日本語と日本文化をめぐる多様な事象を総合的に捉え、グローバルな視点から多文化との共存を主体的に考えることができる、人材育成を目標に掲げています。この目標の意味するところは、古典や先達の知見には敬意を払いつつも、それに決して満足することな



このロゴマークは、2004年に制定されました。学類関係者の公募により選ばれたものです。日本語・日本文化学類の通称「日日(にちにち)」から「日日草(にちにちそう)」を連想し、家紋風にデザインしたものです。

日日草は、暑さに強く初夏から秋まで咲き続けます。また仲間の蔓日日草(つるにちにちそう)は冬の間も根が枯れず、大変繁殖力の強い植物です。花言葉は「生涯の友情」「優しい追憶」「楽しい思い出」です。

伝えたい日本がある。

Our Message

日本文化学類へ！

く、興味ある対象について掘り下げ、大胆なアイデアと緻密な論理で自分の考えを組み立てる方法を学ぶことの大切さです。

そのために日本語・日本文化学類では、カリキュラムに工夫を凝らしています。留学生と協働で学修し、対話を通じて自らの考えを表現する機会や、国内外での実習を通じて、自分の言語と文化を振り返る実践的な学習の場を用意しています。また卒業研究では、複数の教員の指導による問題発見の場である演習も提供しています。そうした環境に身をおけば、おのずと日本語や日本文化に対する固定観念が揺さぶられ、その中身が刷新されるに違いありません。

このパンフレットにある「伝えたい日本がある」というメッセージは、4年間の学修を通じて、言語学、日本語教育学、文化人類学、歴史学、文学といった専門性を高めつつ、日本語や日本文化に関して、自分の言葉で語れるようになるという到達点を指します。ぜひ皆さん、私たちと一緒にチャレンジしてみませんか。

筑波大学 人文・文化学群
日本語・日本文化学類長

鈴木伸隆

Contents

学類長あいさつ	1
日日生からのメッセージ	3
教員からのメッセージ	5
カリキュラム紹介	7
日日生の授業紹介レポート	9
国内実習・海外実習・日本語教育実習	11
チューター制度・留学生	13
海外留学	15
卒業論文	16
卒業後の進路	17
まだまだ知りたい学類 Q&A	19
入試案内・アクセス	21



日日生からのメッセージ



日日では講義や実習だけでなく、定期的に開催されるランチミーティングやクラス連絡会など、様々な場面で先生方と楽しく交流することができます。こうした教員との距離感の近さは、小規模な学類である日日ならではの魅力です！（後藤）

▶**教員からのメッセージ** (p.5)

日日の最大の魅力は幅広い領域を学べることだと思います。日本に関する事なら日本語と日本文化の両面から科目を選択することができて、なおかつ卒論のテーマを決定するまで相当の余裕があるので、じっくりと学ぶことが可能です。（安本）

▶**カリキュラム紹介** (p.7)



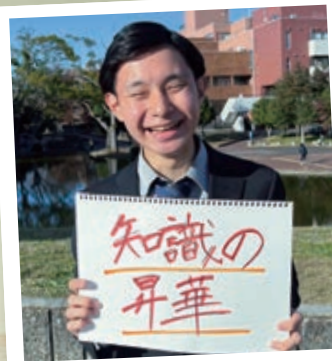
日日の授業では、日本語やそれを取り巻く文化・文学まで幅広く学び、その魅力を母語話者だけでなく非母語話者に教える方法も考えます。他言語への理解と合わせて、日本語への興味がますます深まりました！（インシラ）

▶**日日生の授業紹介レポート** (p.9)



「学！研！実！」は、日日での私のスローガンです！学習、研究、実習を繰り返し、日本語の用法、言語の習得、言語の規則性や原理など、様々なことを研究します。言語の本質を一緒に日日で探究していきましょう！（那）

▶**日日生の授業紹介レポート** (p.9)

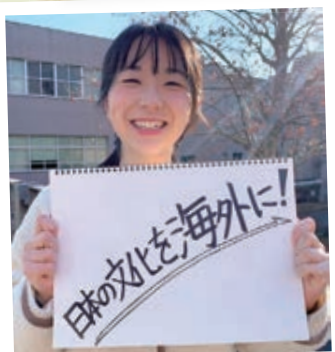


日本語・日本文化を学ぶということは、知識だけを学ぶことではありません。実際に営まれている文化や使用されている言語を、直接見聞きすることで、さらに実りのある学びになります。日日では、談話・方言・文化のフィールド実習が行われています。知識を経験に結びつけていませんか？（松野）

▶**国内実習** (p.11)

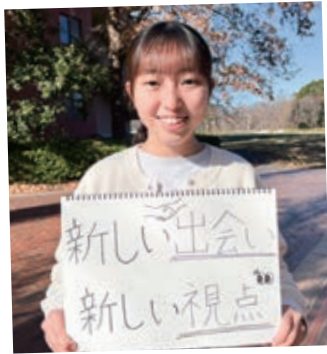
「日本語ではこのように言います。」「日本にはこのような文化があります。」当たり前を再認識し外に発信することで、「日本」の輪郭をより濃くしていく経験ができます。海外の現場で新鮮な学びを得たい方にお勧めです。（岡）

▶**海外実習** (p.11)



試行錯誤を重ねながら日本語教育のノウハウを学ぶことができます！私は教育実習を通して皆さんのことを吸収しました。実際に「先生」として授業をするので、日本語教育に興味がある人、何かを教えることが好きな人は必見です！（内藤）

▶**日本語教育実習** (p.11)



「大学での新しい出会い」それは必ずしも日本文化圏出身の人との出会いとは限りません。私達の常識を、世界の人々はどのように感じるのでしょうか？日日には、日常的に多様な文化に触れ、新しい視点で世界を見つめ直す貴重な機会があふれています。(荒巻)

▶チューター制度・留学生 (p.13)

私は「自分探し」に海外に行く人が理解できませんでした。しかし留学を通して、「自分って意外と度胸あるな」とか「実は社会貢献したい」とか、新しい自分に出会いました。挑戦は未知の自分を知るきっかけです。日日で「自分探し」してみたいかがでしょうか？(高橋)

▶海外留学 (p.15)

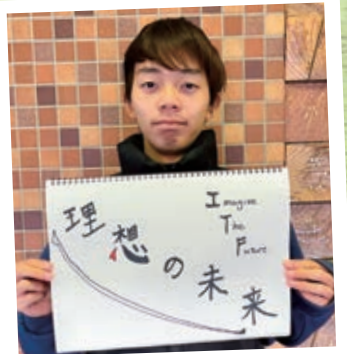


日本語学、日本語教育、文学作品、映像作品、古典、国語教育、フィールドワーク……皆さんも日日で「好き」ととことん研究してみませんか？私は昔からずっと好きだった和歌と真摯に向き合って卒業論文を書きました。(小口)

▶卒業論文 (p.16)

日日生は、国語科教員・日本語教師・公務員になったり、企業や大学院に進んだりと多様な未来を選択しています。今まで想像もしたことのない夢が見つかるかもしれません。日日で好きなことを学んで、理想の進路へ踏み出しましょう！(宮崎)

▶卒業後の進路 (p.17)



日日には、日本語教育、日本語学、日本文化、日本文学について学ぶことができます。『源氏物語』や『おくのほそ道』など予め知っていた作品でも、詳しい背景や考察を知ることで、日本文学の良さを再発見できました。(及川)

▶Q&A 学習編 (p.19)

日日の魅力は学年を超えて仲がいいところ！空きコマは一緒に課題に取り組んだり、学食でご飯を食べたり…憧れのキャンパスライフが待っていること間違いなしです。日日生だけのバレーボールサークル「7piece」もあります！(瀬瀬)

▶Q&A 生活編 (p.20)



教員からのメッセージ

日本語・日本文化学類は、ひとつの事象や課題を多角的に考察する力、問題発見・課題解決のために実践する力、そして、多様な背景の人たちと課題を共有し、ともに解決していける力を有する、文化の創造者たる人材を養成することを、教育の目標としています。

すべての学生が、日本における言語・文化事象を総合的に捉え、グローバルな視点で理解する力を養えるように、学際的な専門科目を多数用意し、様々な専門領域の教員が、みなさんをお待ちしています！



石田 尊 ISHIDA TAKERU

日本語学
Japanese Linguistics

日本語における他動性（他動詞らしさ、他動詞文らしさ）や、受動文などのヴォイス現象に特に関心を持ちつつ、日本語の文法を研究しています。授業では日本語の歴史や方言も扱っています。日本語はどのような言語か、どうして今のような姿になったのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



今田 水穂 IMADA MIZUHO

日本語学・コーパス言語学
Japanese Linguistics / Corpus Linguistics

我々は複雑な思考や情報を、いかにして限られた単語の列で伝達するのでしょうか。また、ごく限られた単語の列から、いかにして複雑な情報を取り出すことができるのでしょうか。我々がどのように思考を言語化し、伝達を効率化し、意味を解釈するのか、言語と意味の関係について考えています。

受 験 生 の



金 仁和 KIM INHWA

韓国語学・対照言語学
Korean Linguistics / Contrastive Linguistics

語彙分類の方法は、文法、意味、語用的用法等、目的により様々です。意味派生からの分類も興味深いです。例えば、擬声語・擬態語等で二つ以上の感覚の意味を持つ語彙の分布を韓日で比較すると、両言語の相違点が文化の影響面から理解でき、文化と関わる言語の特性がよく分かります。



澤田 浩子 SAWADA HIROKO

言語学・音声コミュニケーション研究
Linguistics / Speech Communication Studies

私たちが生きて生活していくうえで、他者とのコミュニケーションは避けて通れません。人間が社会で生きるとはどういうことか、ことばの側面から考えていきたいと思っています。授業では、学生たちと一緒にフィールドワークに行ったり、外国人児童生徒の教育課題についてプロジェクト活動をしたりしています。



鈴木 伸隆 SUZUKI NOBUTAKA

文化人類学
Cultural Anthropology

文化人類学は、人びとの生活そのものを調査研究の対象としています。非常に間口が広いことが特徴です。人間が対象を捉える眼差しは、いろいろな欲望や偏見に満ちています。人やモノが世界規模で移動する時代だからこそ、自分を相対化する人類学的な視点は重要です。



江口 真規 EGUCHI MAKI

日本近現代文学・比較文学
Japanese Modern and Contemporary
Literature / Comparative Literature

研究テーマは、日英文学作品における動物の表象(特に羊)と、その理論的枠組みとなる「アニマル・スタディーズ」です。授業では、翻訳や動物といったテーマから、日本文化を相対的・客観的に捉え、異文化を背景とする人々に伝える知識と力を身に付けてもらいたいと思っています。



小野 正樹 ONO MASAKI

日本語教育学・日本語学
Japanese Language Education /
Japanese Linguistics

日本語を中心とした言語表現と言語行動との関係を、ポライトネスの観点から見えています。世界の日本語教育に関心があり、中でもウズベキスタン・カザフスタンなどの中央アジア地域との交流や、オンライン日本語教材開発にも取り組んでいます。



葛西 太一 KASAI TAICHI

日本上代文学
Ancient Japanese Literature

誰にでも理解できる説明が好まれる一方、誰にでも共通する価値観は成り立ちません。言語や文学を学ぶ意義の一つは、理解できないものに向き合う方法を学ぶことにあります。古典籍に残された文字や表現を手掛かりに、自文化や異文化の多様な「癖」や「変」を発見しましょう。

皆

さ

ん

へ



田中 祐輔 TANAKA YUSUKE

日本語教育・国語科教育・日本語学
Studies of Japanese Language Education /
Japanese Linguistics

日本語教育の視点は、みなさんが世界に雄飛される際に、また、持続可能な世界構築に向けて人々と協業する際に基盤となる知見を与えてくれます。是非、学際性・国際性豊かな筑波大学の日本語・日本文化学類で、言語・文化・社会に関する専門性の高い学修と研究に取り組み充実した学生生活をお過ごしただければと思います。



朴 宣美 PARK SUNMI

近現代日朝文化交流史・ジェンダー史
History of Cultural Exchange in Modern Japan
and Korea / Gender History

私は社会文化史・ジェンダー史の観点から近代日本や朝鮮を考察しています。19世紀末から20世紀前半にかけて、西洋から朝鮮・日本へ、日本から朝鮮へ、朝鮮から日本へと渡った様々な人々(特に女性たち)の移動を明らかにし、それによって普及した新しい考えや「知」について研究しています。



三好 優花 MIYOSHI YUKA

日本語教育文法・日本語学
Japanese Pedagogical Grammar /
Japanese Linguistics

Japan-Expert (学士) プログラム日本語教育コーディネーターをしています。専門は日本語教育文法で、「ある文型が実際にどのような文脈・状況で使われるのか、なんのために使われるのか」ということについて、実例をもとに考察しています。みなさんも、普段使っている日本語について一緒に考えてみませんか。

カリキュラム紹介



教育の目標と特色

筑波大学学士課程の教育目標および本学群・学類の人材養成目的に基づき、学修の成果が次の到達目標に達したと認められる者に、学士（文学）の学位が授与されます。

- グローバルな視点から日本における言語・文化事象を総合的に捉えるための専門知識（言語学、日本語教育学、文化人類学、歴史学、文学など）と探究能力・研究手法とを修得している。
- 異言語・異文化を背景とする人たち、次世代の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる言語運用能力、情報処理能力および異文化コミュニケーション能力を身につけている。

本学類への進学は、推薦入試やアドミッションセンター入試等によるほか、総合選抜を通じて1年次は総合学域群に所属し、2年次から本学類に移行する方法があります。

総合学域群も本学類も、複数の専門領域の学修を通じて、様々な問題を多角的に捉える力の獲得を目指しています。この目標のもと、本学類では総合学域群から円滑に移行できるようなカリキュラムを編成しています。

体験記

遠藤 駿【1年次:総合学域群 → 2年次:日本語・日本文化学類】

私の場合は入学当初から日本語教育分野に興味があったので、日日への移行は自分の希望に沿ったものでした。移行してからは自分と同じ志を持つ仲間と共に学べることの喜びを実感する毎日です。日日は決して大きな学類ではないですが、その分、学生同士が仲良く教員との距離も近いので、2年次から新しく加わった私でもすぐに馴染むことができました。

授業に関しては、確かに2年次以降に履修しなければならない科目は若干多くなりますが、一方で日日の卒業要件には他学類の科目も少なからず含まれており、総合学域群の学生はこれらを1年次のうちに履修していることが多いです。そのため、総合学域群出身であることを不利に感じたことはほとんどなく、自分の選択に後悔はまったくありません。総合学域群での1年間を通じて少しでも日本語や日本文化に対する関心を持った方は、ぜひ日日への移行を考えてみてください！



授業内容

育成する能力とカリキュラムの構成

		1年	2年	3年	4年
専門科目	総合的な分析能力と問題発見、解決能力の統合			総合演習導入 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	卒業論文演習Ⅰ 卒業論文演習Ⅱ 卒業論文
	多様な背景の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる能力		国際・協働科目群：共同研究、対話実習、教育実習、フィールド実習、国際研修、インターンシップ		
	グローバルな視点から日本における言語・文化事象を総合的に捉えるための専門知識		日本語科目群：日本語の音声・音韻、日本語の文法、日本語の語彙、日本語の談話、日本語の語用論、言語と文化、日本語コーパス分析、ほか 多文化共生・日本語教育文法論、日本語技能指導論、日本語教育心理学、日本語教育科目群：海外の日本語教育と日本学、多文化の中の日本、ほか 日本文化科目群：近代日本の文化交流、日本の宗教と芸能、国語科教育と文学、中国文学と日本文学、世界文学と日本文学、表象文化論、ほか + 人文学類、比較文化学類、社会学類社会学主専攻の専門科目		
専門基礎科目	日本語や日本文化、多文化共生社会のあり方に対する基礎的な知識と明確な問題意識の醸成	日本語教育学特別演習、海外語学研修			
		専門英語A,B,C			
		日本語・日本文化研究法、概論科目 + 人文学類、比較文化学類、社会学類社会学主専攻の専門基礎科目		学際科目(専門導入科目)： 共生のための社会言語学、共生のための日本語教育、共生のための人類学、共生のための歴史学、日本文学と文化	
基礎科目	広い視野からの専門分野の発見と位置づけ	共通科目			
		関連科目			

1年次

- 共通科目および専門導入科目、さらに他学類のカリキュラムから幅広く専門基礎科目を履修することで、広い視野のなかで、自らの専門分野を発見し位置づけます。

2年次

- 専門科目を通して、言語学、日本語教育学、文化人類学、歴史学、文学などに関するバランスのとれた知識の獲得を目指します。
- 実習、留学生との合同授業、国際研修などの実践的な科目を通して、異言語・異文化との接触の中で、自国語・自文化に対する問題意識を醸成します。
- 専門英語などを通して、研究および発信ができる外国語力(特に英語力)を身につけます。

3年次

- 実習などの実践的な科目において、問題意識を深め、解決のための応用力・実践力を向上させます。
- 演習などのより専門的な科目を履修しながら、卒業研究のテーマ設定に向けて、総合的かつより高度な知識と研究方法を身につけます。
- 専門科目の学修から卒業論文作成への架け橋となる総合演習は、各教員の専門性を生かしつつ複数教員がグループ指導を行うもので、これにより、ひとつの事象、課題を多角的・立体的に考察する力を身につけます。

4年次

- 卒業論文執筆を通して、全人格的・総合的な分析能力を高め、問題発見、解決能力の統合をめざします。

日日生の授業紹介レポート

日本語方言論【石田 尊 先生】

主に方言文法を扱うこの授業では、方言における文法には地域差があるということ、先生が興味深い例を交えて解説してくれます。また、世代によって各地域で方言がどのように変化しているのかについても、学ぶことができます。実際の地域方言に基づいて説明をしてくださるため、とても分かりやすく親しみやすいお勧めの授業です。

(橋本 かほり)



日本語・日本文化共同研究II【今田 水穂 先生】

留学生と日本人学生でグループを作り、日本語の敬語表現や時制などの文法形式に着目して研究を行い発表します。日本語に関する理解はもちろん、留学生の母語との比較も行うので、他言語・他文化への理解も深まります。留学生が日本語学習過程でどのような部分を理解しづらいのかもわかるので、日本語教育学にも繋がる授業です。

(前田 愛)



日本の文学概論【江口 真規 先生】

『源氏物語』にある和歌はどのように英訳されると思いますか?その英訳を読んだ際、私たちはどのように感じるでしょうか。この授業では日本の文学作品の原文と英訳を比較し、文学と翻訳について基本的な知識を学びます。英訳を読むのは大変ですが、日本語・日本文化の特徴について理解が深まります。文学の面白さと新たな視点に気づくことができる楽しい授業です。

(古山 優衣)



日本語の語用論【小野 正樹 先生】

挨拶、感謝、依頼、謝罪。これらは日常生活でよくある場面です。しかし、このような場面で何と言えばいいのか悩んだ経験がある人も多いのではないのでしょうか。この授業を受講することで、私も会話の相手や場面に応じた適切な言い方を考えるようになり、コミュニケーションを円滑に行うことができるようになりました。

(佐久間 優衣)



中国文学と日本文学演習I【葛西 太一 先生】

中国文学と日本文学との対応する言語表現に注目し、両国の文化背景の違いに基づく異同について考察します。授業では「丹後国風土記」逸文内で各受講生が興味を持った箇所について、その執筆年代や当時の政治的背景を加味しつつ訓読・語釈・考察と検討を加えました。文献の日中比較を通じ、古代日本の姿を覗いてみましょう。

(芳賀 力)



言語と文化II【金 仁和 先生】

辞書での多義語を対象に、意味派生の方向を分析する授業です。例えば、「腰」という言葉は体の一部を表しますが、他にも「腰のあるうどん」のように「粘りや弾力」という意味を表すときもあります。ある単語の複数の意味がどんな関係性にあるか、どう派生したのかなどを、提示された基準や方向性にならないながら考えるお勧め授業です。

(御子 歩美)



日本語の談話【澤田 浩子 先生】

私達が会話している時、何を意識して話しているのでしょうか。談話研究では様々な会話を題材に規則性や法則を見出します。SNSやビデオ会議などが溢れる現代において、談話研究は身近に感じられます。また、私達が会話の中で無意識に行っている会話スタイル、声調(声の高低)等を振り返る事で、自分では気づかない視点も得る事が出来ます。

(富田 康平)

**多文化の中の日本演習【鈴木 伸隆 先生】**

A. センブリーニ著『多文化主義とは何か』の講読を通して、多文化主義の理念を学び、個人や集団間における差異をどのように捉えるかについて考えます。内容は容易に理解できるものではありませんが、質問しやすい環境が整っているため、現代社会の状況や生活に絡めて学びを深められるところがおすすです。

(櫻井 彩乃)

**東洋の歴史と文化【朴 宣美 先生】**

日本の隣に位置する朝鮮半島(主に韓国)の現代史を通して、歴史の事実をつなげる様々な視点について考察を行います。私も映像資料を見て、当時の社会の混乱や人々が民主化に向けて戦った姿を学びました。歴史はある出来事に対する見直しの視点を与え、それは多文化共生を考える上で重要な視点や考え方になるという発見を得られます。

(櫻井 彩乃)

**日本語教育文法論【稗田 奈津江 先生】**

学校文法と日本語教育文法の違いを学び、日本語の文法を日本語学習者の視点から捉え直すきっかけとなるような授業です。学んだ文法に基づいて学習者向けの例文を作成する授業では、稗田先生の現場経験から得た知見のフィードバックを受け、日本語の文構造や格助詞の意味について考え直す機会となりました。

(稲熊 空)

**表象文化論【渡部 宏樹 先生】**

何気ない道路が聖地に。ハム太郎がタイ反政府デモの象徴に。ゴジラは東京大空襲? 世界は表現を生み出す人と受け取る人の相互作用から生まれます。これらは全て“表象”の力なのです。授業では、事例を観察しながらこの仕組みについて考えます。正解はありません。自分の疑問や感覚を言語化し、話し合う中で世の中の見え方がいつの間にか変わる、それが醍醐味です。

(張山 紗彩)

**日本文化研究実習 I**

日本の伝統文化を代表する茶の湯について、その歴史と実践を学ぶ授業です。裏千家の先生の優しいご指導のもと、私も心を込めてお茶を点てました。心地よい緊張感に包まれながらお茶を楽しむ時間は格別の癒やしです。お茶会のための和室や、専門の道具がそろった機会はめったにありません。ぜひこの機会に茶道の精神に触れてみてください。

(伊坂 光織)



国内実習・海外実習・日本語教育実習

国内実習

ひとくちに日本文化といっても、自分が育った環境だけが日本文化ではありません。教室を離れて実際に現地を訪ねることで、それぞれの地域に根差した多彩な生活・文化と人々の存在に触れることができます。



- ◎フィールド実習（「日本語方言研究フィールド実習I/II」）
（「日本語談話研究フィールド実習I/II」）
（「日本文化研究フィールド実習I/II」）

体験記

日本語方言研究フィールド実習



この実習では、茨城県の県西・県南地域をフィールドに方言の単語や文法体系を記録し、分析します。2022年は常総市、2023年は坂東市へ方言調査に行きました。「この地域の人はこんな言葉を使っている」というなんとなくのイメージはみなさんにもあると思いますが、実際に調査してみると、集落を1つまたいだだけで語形が異なったり、同じ地区出身の人でも言い方が同じでなかったり、多様なことばのあり方を実感することができます。共通語の影響で失われつつある言葉があると知り、「自分の祖母はどんな言葉を使っていたかな」「自分の話している言葉はどうだろうか」と考えるきっかけにもなりました。方言に興味のある人だけでなく、地域の文化や生活に興味のある人にもおすすめです。

（与謝野 凱）

海外実習

本学類では、実践性と国際性を重視し、海外で行う実習の科目「国際科目」を提供しています。日ごろ教室で学んだ知識を異言語・異文化を背景とする人たちとの交流の中で見つめなおすことにより、異文化理解、国際交流を身をもって体験することができます。



- ◎スロベニア実習（「日本語・日本文化国際研修I/II」）
- ◎韓国実習（「日本語・日本文化国際研修III」）
- ◎マレーシア実習（「日本語教育国際研修I/II/III」）

体験記

スロベニア実習



この実習では、スロベニアに2～3週間滞在し、リュブリャナ大学の皆さんと交流します。大学では、プレゼンテーションをしたり、スロベニア語の授業を受けたりしました。また、現地の小中学生に日本語を教える機会もありました。大学以外では、大学の皆さんとご飯を食べに行ったり、市内の博物館やブレッドやマリボルという街を案内してもらったりしました。日本とは異なる現地の生活様式に戸惑い、母国語以外も話す多言語環境には驚きましたが、今まで当たり前だと思っていた日本での生活や言語学習を見つめ直すきっかけになりました。どの分野に関心がある人でも新たな発見のある実習だと思います。毎日が新しい出会いの連続で、とても充実した実習でした！

（縮 はるか）

日本語教育実習

本学類は、日本語・日本文化を総合的・相対的にとらえ、異文化を背景とする人々に適切に発信できる知識と能力を身に付けた人材を育成するという教育目標のもと、日本語教育に力を入れています。



- ◎国内教壇実習（「日本語教育実習」）
- ◎遠隔日本語支援（「外国人児童生徒支援実習I/II」）

体験記

国内教壇実習



教材や教育方法について学んだ後、学習者の募集、コースデザイン、授業準備、当日の運営まで自分たちで行います。1日50分×2コマ×6回の授業をグループで協力して準備し、私は初級学習者向けの生活日本語の授業を行いました。教える内容も自分たちで考えるため、生活に必要な日本語とは何かを考えるとところから始まり、単元や文型の設定に苦労しました。教案作りの際には、初級学習者に抽象的な概念を伝えることが難しく、イラストやジェスチャー、教具を駆使して、わかりやすい教え方を模索しました。

大変な部分もありますが、先生方からの丁寧なご助言や受講生同士の話し合いにより、より良い授業ができあがったり、学習者が上達したことを感じたりと、やりがいがあり、得るものが大きいです。

（青木 香夏）

日本語談話研究フィールド実習



私は愛媛県の大三島に調査に行きました。実習前の事前学習で、調査の手法だけでなくその地域の祭礼や風土などを仲間とともに調べるので、実際に行ってみると聞き取りは案外スムーズに進められます。しかし、実際に行ってみると事前に調べていた以上のことを体感できます。お昼ご飯を一緒に食べながら

地域の料理について教えてもらったり、集落と一緒に周って空き家や人口減少の現状を聞いたり、実際にそこで生活する方々の口から語られる言葉は厚みがあります。私自身、大三島での経験から将来はそういった方々の思いや生の声を伝えていく仕事がしたいと考えるようになり、今も就職活動に向けて情報収集を進めています。これからの自分の学習や進路に大きな影響を与えてくれた実習です。

(佐々木 奎)

日本文化研究フィールド実習



日本文化研究フィールド実習は、日本国内の特定地域に数日間滞在し、その地域の文化や歴史・生業について調査を行う授業です。これまでは愛知県豊田市足助や京都府舞鶴市が調査地となりました。観光業の様子や特産品の現状、交通サービス、祭礼、農業振興など、自身の関心に沿うテーマを調査者自

身が考え、そのテーマを明らかにするために適切な調査方法や調査先を教員と相談しつつ設定します。現地では、地域を歩いたり施設を巡ったりするだけでなく、聞き取り調査等の踏み込んだ調査を行い、地域で生活されている方々の声や地域の実情の詳細な把握を試みます。学外に出て調査を行う経験を得て、資料では得られない情報を基に考える力を養う、意義のある実習です。

(佐藤 久信)

韓国実習



日本と韓国の歴史について理解を深めるために韓国を訪問し、ソウル、釜山、大邱などの都市をめぐる、学生がそれぞれ設定したテーマで調査をします。日本と韓国は、しばしば「近くて遠い国」とも言われますが、その言葉が示す通り、遠く感じている人も多いのではないのでしょうか。しかし、実習を通じて現

地の人々と出会い、実際に話をすることで、韓国をより近くに感じることができました。交流する人の中には、高校生、大学生、高校の歴史科教員、「旧日本軍慰安婦問題」解決のために活動する人など、様々な立場の人がいます。そのような人と関わる中で、一つの問題に対して、さまざまな視点から見つめなおすことのできる力を養うことができます。歴史問題や韓国に少しでも興味があれば、さまざまな学びが得られる授業だと思います！

(宮澤 有伸)

マレーシア実習



実習先の日本語クラスを見学したとき、学生が目を輝かせながら「好きな日本のアニメは?」「いつか日本に行きたい!」と次々に話しかけてくれました。日本を心から愛してくれる人たちと出会って、初めて日本語を教える素晴らしさを知ることができた気がします。

自分が現地の人にとってどんな存在なのか、毎日考えるのも新鮮でした。異国の地にいる自分は、日本語や日本文化を教える先生で、言葉の通じない観光客で、また普通の友達でもありました。短期の滞在でしたが、マレーシアの街並み、道路、草木、音、匂い、人が、慣れ親しんだものになりました。この実習で何を感じるかは、その時の自分次第だと思います。私はぜひもう一度マレーシアに出向き、新たな発見と感情でいっぱいになりたいと思っています。

(島 沙也加)

遠隔日本語支援



この実習では、茨城県内の中学校に通う外国人生徒に対して、オンラインで日本語支援を行います。来日したばかりの生徒から、教科と日本語の統合学習を求める生徒まで、必要とされる支援内容の異なる生徒を幅広く担当し、大学生3～4名と生徒3～5名で構成されたクラスごとに、週2～3回の支援を実施

します。日本語教育に関心がある人にはもちろんおすすめですが、学校や教育委員会の方と関わる機会も多く、また、学生間でミーティングを重ね、支援計画を作成、実行していくことから、周囲と連携を図りながら組織の一員としてプロジェクトに関わる経験を求める人にもおすすめです。実習中、直接生徒から「支援でやった日本語を友達に言えた!」などの声を聞くことができるのもこの実習の魅力の一つです。

(宮本 彩花)

修了証プログラム

私たちの日常生活の中で、外国人と触れ合う機会が飛躍的に多くなりました。これからの日本社会には、生活者としての外国人、日本語指導が必要な外国人児童生徒を、地域社会が包括的に支える態勢が求められています。日本語・日本文化学類は、そのような多文化共生社会に向けた地域づくりのために「日本語学習支援者養成」修了証プログラムおよび「日本語教師養成」修了証プログラムを提供しています。所定の単位を修得して申請することで、卒業時に授与される学士号とは別に、日本語学習支援力を保証する証明書が発行されます。

●「日本語学習支援者養成」修了証プログラム

児童生徒教育に携わる教員志望学生、生活者としての外国人を支える地域のボランティア等として、日本語教育の多く基礎的な資質・能力を有していることを保証するものです。

●「日本語教師養成」修了証プログラム

国内外で多様化する日本語学習者の置かれた状況に対応できる資質や能力、専門性の高い知識や実践力を有していることを保証するものです。



チューター制度・留学生

チューター制度

留学生が日本で不便なく生活が送れるように、個人レベルで支援を行うのがチューター制度です。日本語・日本文化学類ではこのチューター制度の活用を力を入れており、多くの学類生がチューターとして留学生の支援に関わっています。

チューターの具体的な役割は、留学生の学習・研究の補助（予習・復習の手伝い）を中心に、日本語学習の支援、日常生活のサポート（学内外の案内、諸手続きのための市役所等への同行、買い物の補助）などを行うことです。また、歓迎パーティーや交流パーティーなども企画し、親睦を深めています。チューター制度は決して日本人学生から留学生への支援という一方向的なものではありません。日本人学生もチューターを経験することによって、日常的な交流の中から日本語・日本文化の伝達や異文化理解についていろいろなことを実感し、また学ぶことができるものと思います。



体験記

吉田 千春 & ヘルツシュ ヘンドリック

ヘンドリックとは授業やサークルが同じだったため、チューターという関係を超えて仲の良い友人になりました！異国から日本に来て勉強を頑張ったり、日本人と楽しそうに話をしたりしている彼と関わるうちに、私自身も在学中に海外留学したいという思いが芽生えました。

チューターにならなくても留学生と仲良くなることはできますが、チューター制度をきっかけに、留学生との関わりが増えることは間違いありません。今でこそチューターになってよかったと感じることが多いですが、本当に自分が役に立てるのか、文化の違いで問題が起こらないかなど、不安なこともたくさんありました。しかし、ヘンドリックと冗談を言い合ったり、一緒に遊んだりしていくうちに、抱いていた不安の大部分は杞憂だったことがわかりました。私と同じように活動している日頃の同期や先輩たちと助け合うこともでき、チューターの活動を通して、「人とのつながり」を強く実感できたことが、一番の収穫だと思います！（吉田 千春）



鎌田真凜 & アニス ザフィラ ビンティ ゾルカプリ

チューターの仕事は主に、来日後の手続きや生活準備、学習補助や悩み相談です。2021年は新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか来日が叶わず、しばらくはオンラインでの交流となりました。その間も、お互いの国のことや日本の音楽や映画について話したり、一緒に勉強したりするなど、とても楽しい時間を過ごすことができました。10月に来日し、直接会えた時はとても嬉しかったです。

チューターになる前は「日本について教えなければ」とも考えていましたが、実際は私の方がザフィラさんから沢山のことを教わっています。日常の何気ない会話から日本とマレーシアの違いに気づいたり、留学生ならではの日本語の捉え方を知ったりすることができ、会うたび新しい発見と学びの連続です。今では留学生とチューターという関係を超えて、とても良い友人として交流を続けています。

皆さんもぜひ留学生と楽しい大学生活を送ってみてはいかがでしょうか。（鎌田 真凜）



留学生

日本語・日本文化学類は、短期留学生・日研生・正規生（JE生含む）など、世界各地から数多くの留学生を受け入れています。日中の学生は、チューター制度や合同授業等を通じて留学生と触れ合う機会が非常に多く、毎日が国際交流です。

【日中の留学生数】(2016～2023年度)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
短期留学生	27	21	35	38	3	10	22	22
日研生	6	12	4	1	3	3	4	6
正規生（JE生含む）	4	5	2	2	2	2	4	4

※当該年度に受け入れ、入学した人数。2020年～2022年はコロナ感染拡大による入国制限のため受入人数減少。

留学生出身国・地域(1990-2023年度)

 アゼルバイジャン	 インドネシア	 キューバ	 スリランカ	 中華人民共和国	 ブルガリア	 メキシコ
 アメリカ合衆国	 ウクライナ	 クロアチア	 スロバキア	 ドイツ	 ベトナム	 モンゴル
 イギリス	 ウズベキスタン	 コロンビア	 スロベニア	 トルコ	 ベラルーシ	 ラトビア
 イタリア	 オーストラリア	 サウジアラビア	 タイ	 ハンガリー	 ベルー	 リトアニア
 イラン	 オーストリア	 シンガポール	 大韓民国	 フィリピン	 ポーランド	 ルーマニア
 インド	 オランダ	 スイス	 台湾	 フィンランド	 香港	 ロシア
 カザフスタン	 スウェーデン	 タジキスタン	 ブラジル	 マレーシア		
 カンボジア	 スペイン	 チェコ	 フランス	 ミャンマー		

【日研生】

日本語・日本文化学類は、筑波大学での「日本語・日本文化研修留学生（日研生）」の受入組織となっています。日研生とは、日本国政府（文部科学省）の奨学金により、日本の大学において日本語能力および日本事情、日本文化の理解向上のための教育を受ける留学生です。自国の大学で日本語や日本文化に関する分野を専攻としている学生が対象です。



日研生は1年間の留学の成果として修了レポートを執筆します。指導教員や大学院生チューターからのアドバイスを受け、執筆に取り組みます。



最近の修了論文／修了レポート

- 日本語における外来語と和語の使用状況の比較研究
—「キー」と「鍵」を比較するカギ—
- 異文化コミュニケーションにおける日本人の本音の処理
—筑波大学生を事例として—
- シンハラ語母語話者の聴解学習に関するピリフ
—スリランカ人大学生を対象に—
- 日本語と韓国語の歌詞の特徴
—2010年代のK-Popを中心に—
- 中国人日本語学習者における日本語条件形式の誤用について
—「と」と「て」の誤用を中心に—
- J-POPアイドルのグローバルファン獲得へのアプローチについて
—K-POPアイドルのマーケティング成功例を参考に—
- 新羅後半の社会状況との比較からみた平将門の乱
- 日本とカザフスタンのマスコットをめぐる比較
—日常生活からみた機能と使用方法を中心に—
- ホラー小説における怪談と実話的な要素の影響
- 「させていただく」表現における新用法の使用実態

【JE生】

「Japan-Expert（学士）プログラム日本語教師養成コース」の正規生として4年間在籍します。母国の日本語教育の振興に貢献する日本語教師の育成を目的とします。日本語教育インターンシップに参加し、現場での実践力を養います。

詳しくは、<https://jp-ex.tsukuba.ac.jp/>「筑波 JE」で検索！

海外留学

日本語や日本文化を客観的にながめる目を育て、世界に発信する力をつけるために、ぜひ在学中に一度は海外留学することをおすすめします。一年生のうちから海外留学の時期について考え、準備を進めていきましょう。世界はあなたを待っています！



交換留学制度

筑波大学は、67か国・地域の大学や研究機関と380協定（CiC12、大学間174、部局間194）を締結しています。（2024.2.2現在）

協定校への交換留学には、さまざまなメリットがあります。

1. 休学せず渡航できるので、計画的に単位を履修すれば4年間で卒業できる。
2. 留学先の取得単位は、一定の条件をクリアすれば卒業単位として互換可能。
3. 各種奨学金制度を利用しやすい。
4. 授業料相互不徴収に関する協定が締結されていれば、留学先の授業料免除。



協定校の一部

中国／北京大学、湖南大学、澳門大学 台湾／国立政治大学 韓国／梨花女子大学校、韓国外国語大学校、啓明大学校 タイ／タマサート大学 ベトナム／ベトナム国家大学 マレーシア／マレーシア工科大学 オーストラリア／ディーキン大学 カナダ／プリンス・エドワード島大学 アメリカ／カリフォルニア州立大学、オハイオ州立大学 メキシコ／グアダラハラ大学 ペルー／カトリカ大学 トルコ／ボアジチ大学 イタリア／カ・フォスカリ大学 エストニア／タリン大学 英国／シェフィールド大学 ドイツ／パイロイト大学 フランス／パリ第八大学 ポーランド／ヤギェウォ大学 ラトビア／ラトビア大学 リトアニア／ヴィリニウス大学 ロシア／サンクト・ペテルブルグ大学 ウクライナ／キーウ国立大学 ウズベキスタン／タシケント国立東洋学大学 カザフスタン／カザフ国立大学、ユーラシア国立大学 エジプト／カイロ大学

詳しくは、<https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ies-top/go-abroad-top>「筑波大 海外留学」で検索！

体験記

高橋 奈々加 【マレーシア・マレーシア国民大学】

私は2022年3月から8月まで、マレーシアで交換留学をしました。本学のAIMSプログラムと奨学金「はばたけ！ 筑大生」を利用して、渡航準備や費用の支援を受けながら、新型コロナウイルスの対策を徹底し渡航しました。マレーシア国民大学は、首都クアラルンプールから電車で1時間ほどの郊外にあるイスラム教の国立大学で、マレー語と英語で授業が行われます。私は自分の卒業論文のテーマに近い、言語や文化、教育に関する授業を英語で履修しました。慣れない英語での授業やレポートに苦しんだ日々も、今では忘れられない思い出です。

大学の寮での生活はハブニングだらけでした。窓から猿が入ってきたり、汚い水道水のため、洗濯物が全て茶色になったり、友人のバイクの後ろに乗って出かけたラスコールで水浸しになったこともありました。また同じ寮のイスラム教の学生たちのルールに従った生活は、食べ物の持ち込み制限やアザーン（礼拝の呼び出し）時の行動制限があり、不自由に感じることもありました。しかし海外が大好きな私にとっては全てが新しい発見であり、どんな苦労も楽しむことができました。

最後に、私は大学時代を留学のために費やしたと言っても過言ではありませんが、全く後悔はありません。よく「大学は人生の夏休み」と言いますが、これは自由に時間を使って自分の好きなことを追求できる大学時代の特徴を、よく表している言葉だと思います。筑波大学や日日は、学生の関心を広げるイベントや柔軟性のある履修制度を通して、好きなことを見つけ挑戦するサポートをしています。ぜひこれらの支援を積極的に使い、満足できる「人生の夏休み」を過ごして下さい。



卒業論文

卒業論文は4年間の学生生活を締めくくる、大学における学業の総決算と言えます。若い感性でさまざまに吸収してきた滋養を基にして、ひろくアンテナを張りめぐらし「問題」を発見します。その課題の解決法をあれこれと試行錯誤しつつ導き出す過程を、分析的に説明することが求められます。漠然と分かっているつもりのことでも、思考を言語化して説明することは非常に苦しいことです。しかしこの苦しみを通してしか「唯一のもの」の創造は生まれないのです。この創造の実感はきっと皆さんの人生のなかでももっとも充実したものとなるにちがいありません。

論文のスケジュール



卒業論文題目 最近の卒業論文題目(一部紹介)

- 香川県伊吹島方言の名詞アクセントにおける音調の世代差及び伝統的アクセントの保存状況
- 日本語ボランティア教室の役割・機能に関する実態調査と考察
—北海道札幌市における活動に着目して—
- 韓国女子大学生を対象としたほめに対する応答の比較
- 小学校国語科における戦争児童文学の役割と授業での扱い方について
—あまみきみこ「ちいちゃんのかげおくり」を中心に—
- SNSにおける特殊文字使用の男女差・世代差 —絵文字を中心に—
- 『常陸国風土記』にみられる「荒ぶる神」「国栖」と「風化(おもむけ)」
- 話の内容による言語表現の分析 —SNS上の漫画内容紹介文を対象に—
- 行政と住民によるまちづくりの展開
—土浦市の中心市街地における取り組みを事例に—
- 日本における在日コリアンに対するレイシズムの現状
—Xの分析を通して—
- 地域資源としての観光果樹農園 —山梨県甲州市を事例に—
- X(旧Twitter)に見られる読点付き文頭名詞句の文法上の位置付け
—知識管理に基づくφと「は」との対照から—

昭和63年度からの卒業論文一覧は、HP (<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/sotsuron/>) で、「筑波日日」で検索!

体験記

小口 桃佳【題目:新学習指導要領における和歌教育の実践—百人一首を用いた授業提案—】

卒業論文を執筆する上でとても助けになったのは総合演習の時間でした。総合演習とは、3年生の時に一年間の演習授業です。ここではグループごとに論文の書き方や先行研究の調べ方などを学んだり、興味のある分野に関する先行研究を調べて発表したりと、卒論を書く上で欠かせないスキルを学ぶことができます。この総合演習の最大の利点は、同じ分野に興味のある学生でグループが構成されているため、学生や先生に相談がしやすいという点にあります。実際に私も研究の方向性について悩んでいた際に、同じ和歌を扱うグループの友人に相談し、一緒に悩んでもらったことがありました。その友人とは四年生になっても研究のことで相談をし、意見をもらうなど、執筆の励みとなっていました。

卒業論文は四年間の集大成。不安に思う方も多いと思います。それでも好きなことを自由に研究できる機会はとても貴重な経験です。日日ではテーマ決めから論文提出まで、友人や先生方と相談しながら行える環境が整っています。みなさんもぜひ日日で「好き」をとことん研究し尽くしてみてください!



卒業後の進路

日本語と日本文化を総合的に学び、異文化交流にも深い理解を持つ日本語・日本文化学類の学生には、社会のさまざまな分野での活躍が期待されています。その期待に応え、これまでの卒業生は、各々の希望や適性に最も適した道に進んでいます。

主な進路

最新の情報は、<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/> 「筑波大就職」で検索!

一般企業

ここ数年、卒業生の約半数が一般企業に就職しています。職種・業種ともに多岐に渡り、教育サービス業(教材出版販売、教育システムサービス、語学学校、等)、情報サービス業(情報通信システム開発、コンピュータソフトウェア開発、等)、流通・小売業(スーパー、コンビニ、等)や報道・出版業(新聞社、出版社、等)に就職しています。言語・文化両方にわたる視野の広さという、本学類の特質を仕事に活かすことが期待されています。

日本放送協会/テレビ朝日映像株式会社/日本経済新聞社/株式会社朝日新聞社/凸版印刷株式会社/学校図書/光村図書出版/株式会社ポプラ社/ベネッセコーポレーション/NTTデータシステム技術/野村證券株式会社/あおぞら銀行/群馬銀行/足利銀行/横浜信用金庫/日本郵政/日本航空株式会社/関東鉄道/佐渡汽船/ホテルオークラ東京ベイ/株式会社東急リゾートサービス/丸紅/丸井グループ/JTB/エイチ・アイ・エス/日本武道館/三井記念病院

教師

本学類では、中学校・高等学校の国語科の一種教員免許が取得できます。学類生の多くが教員免許を取得し、5~6名が実際に教師になり、言語学的な面に強くしかも日本語教育の素養もあるユニークな国語科教員として活躍しています。

また、卒業後すぐに日本語教師として日本語教育に従事する者もいます。しかし、現在、大学や研究機関などの高等教育機関で日本語教師の職を得るためには、国内外を問わず修士以上の資格が求められるので、日本語教師を目指す人の多くは、学類卒業後、大学院を経て日本語教師として活躍しています。

茨城県公立高等学校/福島県公立中学校/栃木県公立中学校/群馬県公立中学校/埼玉県公立高等学校/神奈川県公立中学校/山梨県公立高等学校/長野県公立高等学校/富山県公立高等学校/静岡県公立中学校/岐阜県公立高等学校/宮崎県公立高等学校/学校法人東京聖徳学園/星野女子高等学校/明星学園高等学校

国立研究開発法人・独立行政法人

国際農林水産業研究センター/環境再生保全機構

公務員

幅広い教養と広い視野を身につけて、公務員(県庁・市役所職員、裁判所職員、等)の道に進む卒業生も毎年数名います。

総務省/文部科学省/厚生労働省/茨城県庁/福島県庁/千葉県庁/東京都庁/愛媛県庁/佐賀県庁/つくば市役所/土浦市役所/成田市役所/さいたま市役所/沼津市役所/静岡市役所/豊橋市役所/茨城県警察本部/広島県警本部

進学・留学

学類での勉強の後、さらに専門分野の研究を続けたい場合、また、修士や博士の学位を得てより高次の専門職につきたい場合は、大学院に進学することになります。語学力を高めたり、さらに専門的な知識を深め、実践的な経験をつむために海外の大学・大学院に留学する人もいます。

大学院修了後の就職先は、国内大学教員では、筑波大学、東京大学、首都大学東京、群馬大学、広島大学など、海外大学教員では、中国の大連大学、韓国の興信大学、イタリアのカターニア大学など、世界中で広く活躍しています。

筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群

- 人文学学位プログラム：歴史・人類学サブプログラム、文学サブプログラム、言語学サブプログラム
- 国際公共政策学位プログラム
- 国際日本研究学位プログラム

筑波大学大学院人間総合科学学術院
人間総合科学研究群

- 教育学学位プログラム：次世代学校教育創成サブプログラム(国語教育領域)、国際教育サブプログラム

筑波大学大学院理工情報生命学術院
生命地球科学研究群

- 地球科学学位プログラム

北海道大学/大阪大学/東京外国語大学/東北大学/早稲田大学
海外 英国ノーザンプトン大学大学院



先輩の声

丸山 陽菜 (愛媛県立今治西高等学校国語科教員)



「古典って役に立ちますか？」私は現在、高校の国語教員として働いているのですが、生徒からこんな質問をよく投げかけられます。英語や科学などに比べて、文学を学ぶ意義は目に見えにくいので

かもしれません。私はこの質問に対し、「古典学習は、異文化交流なんだよ。」と返答しています。これは、日日での学びを通して、私なりに探し出した答えです。

在学中、私は異文化に触れる機会に多く恵まれました。チューターをしたり、マレーシア実習に参加したり。多様な背景や価値観を持つ人々と対話することによって、私の中で凝り固まっていた「当たり前」は何度も崩れ落ちました。日日で自分自身や「日本」を客観的に見つめ直してみようと試行錯誤した経験は、視野を広げる上で本当に大切だったと感じています。先人の思想が詰まっている古典も、現在の考え方を相対化するための「異文化」になり得るのではないかと思います。未来を担う生徒たちには、自分の「ものさし」を絶対視せず、多角的に物事を考え、寛容な姿勢で他者と関わることができるようになって欲しいです。まずは、古典の面白さ、学ぶ意義に気づいてもらえるように頑張りたいです。

高橋 佑歩 (東日本旅客鉄道株式会社)



きつぷを売り、お客さまをご案内する業務は、一見すると日本語や日本文化とかけ離れているように見えるかもしれませんが、駅員の仕事は、観光流動を促すポスターを自作したり、駅のイベント

を企画したりと、皆さんの想像以上に多岐にわたっています。世の中の仕事の多くは、日日で学ぶ内容と直接的な関連性が見出しにくいですが、それは、見えているのが仕事の氷山の一角であるためです。

日日に進学して、「自分が今まで見てきた日本」は、実際のごく一部であったことがわかりました。それは世界各国からの留学生を含めた、多様な価値観を持つ友との触れ合いや講義から得られた結論です。高校までとは異なり、大学では自分の思い付かないような新鮮な見方・考え方に触れ、それを蓄積することで、自分の考え方がアップデートされたと感じます。

日日で得られる多角的な知識は、どんな仕事にも活かせると確信しています。あらゆる選択に対して自身の糧となる、ここ日日で学生生活を送ることをお勧めします。

関 俊太 (株式会社四谷大塚)



私は現在、受験指導塾で教鞭をとっていますが、塾の生徒達にとって勉強は、合格のための手段であって目的ではないのだらうと感じることがあります。です

で生徒には、「大学へ行ったら自分の好きなことを好きなだけ学べるよ」と言って、日々の学習についてエンカレッジしています。

日日では、日本語や日本文化について様々な分野・視点から学び、普段何気なく使っている日本語って、見つめ直すとこんなに面白いのだなと感じることが多く、学問の楽しさを知ることができました。また、先人の意見を知り新たな自分の考えを生むことや、色んな人と意見を交換することで得られる多角的な考えや視点、実地調査による多様な人々との交流・コミュニケーション、得られたデータを整理・分析し、物事をマクロ的・ミクロ的に見る大切さなど、日日での学びの経験は、社会人になってからでも、様々な場面で役に立っています。最初は日本語に多少興味があっただけの私が、学ぶ楽しさを知り、社会でも大いに役立つスキルを得られたのは、間違いなく日日のおかげです。日日での学びは、その後の人生を必ず豊かにしてくれると思います。

五十嵐 理紗 (株式会社リブセンス)



大切なのは正解を見つけることではなく、“何がそうさせるのか”を理解すること。私は現在、一般企業の人事担当として社員や就活生の人生に向き合う仕事をしています。働く上で強

く感じるのは、様々な立場の人が意見を交わし、より良いものを作り上げるには、衝突や摩擦は避けて通れないということです。同時に、“絶対的な善悪”はないと気付かされます。では、私達にできることは何か。互いの関係を隔てるものは何なのか？何がそうたらしめるのか？背景に目を向け“違いを理解する”ことが、人と人が手を取り合い共に生きていく上では重要ではないでしょうか。日日学類は、日本人が育ててきた文化や言語に目を向け、その背景で生じる環境の変化や思考の本質に迫る学類です。正解ではなく、背景や行間を極める学びは、1人の人間として生きていく上で多くのヒントを得る貴重な経験となりました。「あなたの中に起こる感情は、何がそうさせるのか？」と私は今日も問いかけながら、より良い社会を模索しています。

まだまだ知りたい学類Q&A

学 習 編

Q どんな授業がありますか？

A 一般的に、先生方が授業の趣旨にそった内容について「講義」をする光景が思い浮かぶと思いますが、他にも「演習」や「実習」などがあります。

「演習」とは、各自に時間が割り当てられ、学生が発表していく形式の授業です。ある事柄に対して自ら疑問を持ったテーマについて調べ、考察し、その成果を授業の中で発表するというものです。個人発表やグループ発表など形態は様々です。多くの文献にあたり、分析力を身につけられるので、研究することの楽しさを実感できるでしょう。

「実習」とは、現地に出かけて調査を行ったり、実際に教壇に立って日本語を教えたりする、いわば実践型の授業です。海外の教育機関で研修をしたり異文化交流をしたりするものもあります。机上の学問だけでなく、実際に現場を見たり、経験したりすることで、新たな視点を切り開いていくことができます。

Q 外国語には何がありますか？

A ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・韓国語から1つ選択し2年間学ぶ「初修外国語」が必修科目です。さらに語学の実力を付けたい場合は、2年生以降、各言語の中級や上級を履修することもできます。もちろん英語も必修科目で、2・3年生では、より高度な内容を扱い、実践力をつけていく「専門英語」もあります。

Q 大学図書館について教えてください。

A 筑波大学図書館は、全国有数の蔵書数を誇り、毎日、多くの学生や教員が学習や研究に利用しています。館内には自習スペースや勉強会用セミナー室もあります。また、自宅からでもオンラインで、文献情報の検索や貸出予約・延長ができたりします。多数のデータベースへのアクセスや他の大学図書館との相互貸出も行っており、高度な研究のためには欠かせない存在です。

Q 海外日本語教育実習は誰でも参加できますか？

A はい。「日本語教育国際研修」の標準履修年次は2~4年生で、例年、ほぼ希望通りに参加することができています。とはいえ、いきなり日本語を教えることは難しいので、他の日本語教育に関する基礎的な授業でしっかり学んでから挑戦することが望ましいでしょう。応募多数になった場合は、それまでに履修した科目や成績が選考基準となります。

Q 他学類の授業は履修できますか？

A 日本語・日本文化学類の授業だけでなく、他のどの学類でも自分の興味のある授業を自由に受講することができます。ただし、卒業単位(124単位。JE生は135単位)として認められる他学類の授業単位数には、上限があります。

Q 試験はどのように行われますか？

A 試験の形式は、授業によって先生によって様々です。普通のテストのような形式だけでなく、自分の考えを論理的にまとめる形式のものもあります。必ずしも明確な「正解」はなく、自分の考えを、筋道を立てて述べられるか、ということも問われているのです。レポートが課されることもあります。授業と関連のあるテーマが設定され、それについて自分なりに調べて分析するものや、授業内容に関する自らの考えを述べるものなどです。

Q 教員免許を取得したい場合はどうしますか？

A 教員免許を取得しようとした場合、「教職に関する科目」を多数履修する必要があります。さらに、「教科に関する科目」も必要ですが、国語(中学校・高等学校教諭一種)の場合、日本語・日本文化学類の開設科目から履修すれば、卒業単位としても教職単位としても認められるので、それほど大きな負担とはなりません。実際、日々の多くの学生が教員免許の取得を目指しており、国語教員免許取得率は、全学で日日が1位です。

生活編

Q 学生宿舎について教えてください。

A 新入生が優先的に入居できるよう配慮された施設です。毎年、1年生の多くが入居して新しい大学生活をスタートさせています。学生宿舎はいわゆる「寮」とは違い、管理は学生自身に任されています。そのため門限や規則などはなく、常識とモラルの範囲内で自由に生活することができます。入り口には認証システムがあり、セキュリティは万全です。なお、宿舎ではトイレ、炊事場、洗濯室はフロア共用になります。コインシャワーもあります。居住棟の近くには共用棟があり、食堂、浴場、コンビニ、理容等が配置されています。水道代、ガス代は不要で、電気代のみ支払いますが、格安です。2年次以降も入居したい場合は、希望者による抽選になります。

Q 留学生との交流について教えてください。

A 筑波大学にはグローバルヴィレッジという一般学生と留学生のシェアハウスタイプの学生宿舎があり、留学生と生活を共にすることができます。また、日日には多くの留学生が在学しており、チューター制度を利用したり留学生交流パーティーなどに参加したりすることで、授業以外にも多くの留学生と交流することができます。

Q 大学には、他にどのような施設がありますか？

A **書籍部**：書籍や文房具などを全て割引価格で購入することができます。
大学会館：郵便局、コンビニ、旅行会社、画材店があります。
保健管理センター：内科・整形外科・精神科の診療を、学生証を提示することで安く受けられます。また、必要に応じて他の医療機関を紹介してもらえます。
そのほか、日日授業棟の中には、録音実験に使える防音室、教育実習で使うマジックミラーの部屋と観察室、学生控室や資料室もあります。また、日日学類関係の部屋として、話し合いに使える畳張りの和室や、教室の一角に障子と床の間の茶室もあり、ここで茶道を学べる授業もあつたりします。

Q どんな食堂がありますか？

A 筑波大学には様々な食堂があり、定食やカレー、パスタ、そば・うどん、パン屋、ハラルフードなど、構内だけでも20近い食堂を利用することができます。いずれの食堂でも気軽に食事ができますので、いろいろ巡ってみて、自分の好きな食堂を見つけてみるのもいいでしょう。図書館併設のコーヒーショップや屋外のキッチンカーを利用して、授業の合間に一息つくこともできます。

Q 学内でパソコンを利用することができますか？

A 筑波大学では、全学計算機システムのサテライト室（コンピュータ室）が、図書館や学群棟（講義棟）の各所に配置され、学生はそのどこでも同じようにパソコンやプリンタ、スキャナを利用することができます。また、学内無線LANシステム、学生宿舎LANシステム等の設備も充実しており、宿舎でも無料でインターネットに接続することができます。なお、メールアドレスが学生全員に与えられており、学外からチェックすることができます。

Q 学生の交通手段は何ですか？

A ほとんどの学生が自転車を利用します（このページの背景をよく見てください）。大学周辺には宿舎やアパートが多数あり、お店も多数点在するので、自転車があれば不自由のない生活が送れます。中には自動車やバイク等を利用する学生もいます。自動車所有率は、他大学より多いかもしれませんが、学内移動やつくば駅までは、大学循環バスを利用する人も多いです。つくば駅から秋葉原へは、つくばエクスプレスが最短45分と早いですが、大学から東京駅まで行く高速バスも出ています。

Q サークル活動には、どんなものがありますか？

A 筑波大学公認のサークル活動には、大きく分けて「体育系」「文化系」「芸術系」の3つがあります。
体育系サークル：サッカーや野球、テニスといったメジャースポーツから、ヨット、ライフル、アーチェリーまで、様々なサークルが活動しています。
文化系サークル：茶道、映画、将棋から、社会福祉系サークルまで、様々なサークルがあります。
芸術系サークル：オーケストラ、アカペラ、合唱、津軽三味線といった音楽系のものや、舞踏、絵画、焼き物、写真といったものがあります。

入試案内

【入試の詳細】

最新情報は、大学や学類のホームページをご覧ください。

筑波大学ホームページ <http://www.tsukuba.ac.jp/>

日本語・日本文化学類ホームページ <http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>

【筑波大学オープンキャンパス】

毎年7-8月頃に筑波キャンパスで「オープンキャンパス」が、3月末に「春の進学説明会」が行われます。詳細は、日本語・日本文化学類のHPをご覧ください。

アクセス



詳細は、
http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html 参照。
「筑波大 アクセス」で検索!



伝えたい日本がある。

編集後記

最後までご覧いただきありがとうございます。日日学類の魅力をたくさん詰め込んだ学類パンフレットはいかがでしたか。新型コロナウイルス感染症による規制もほとんどが緩和され、「以前」の日々が戻ってきた、という言葉をよく耳にします。目まぐるしく変化する社会や生活の中で、大学4年間という長くも短い日々の「以前」は在学生からすると想像もつきませんが、自分の好きなこと・やりたいことを追い求めてきた日日生の本質はそう変わらないのかな、とも思います。今も昔も、そう変わらない「日日の日々」を、学類パンフレットを通して、これからの皆さんにお伝えできていれば幸いです。

最後になりますが、パンフレット制作に関して協力いただいた全ての方、そして今このパンフレットを読んでいる未来の日日生の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

2024年度日本語・日本文化学類公式パンフレット制作委員会
関珠暖・山田千照・篠崎健太・古山優衣・竹内杏美





筑波大学 人文・文化学群

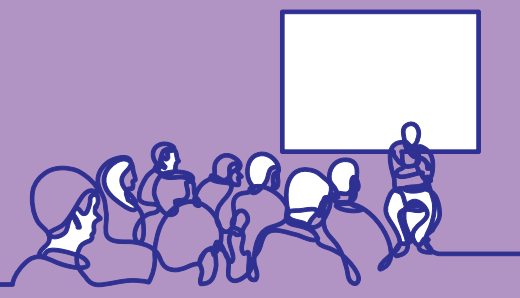
日本語・日本文化学類

College of Japanese Language and Culture,
School of Humanities and Culture,
University of Tsukuba

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL 029-853-6764

FAX 029-853-6839



筑波日日

SEARCH

 <http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>



 <http://www.facebook.com/tsukuba.nichinichi>



 @Nichinichi

